

2009年度

科目名	コミュニケーション論			コード	53210
担当教員	岡崎 裕子			単位数	2
配当	薬学1	講時	金曜日3限	単位数	2
開期	後期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	対人援助とコミュニケーション				
目的と概要	<p>医薬分業が進むなか、これからの薬剤師には、薬学の知識のみならず、直接患者とその家族に対峙する対人援助職として、相手に誠実に向き合い、理解と思いやりを持って接し、信頼に足る専門家となることが必要とされます。また、医療チームの一員として、他のスタッフとのよりよいコミュニケーションを必要とされることも多くなるでしょう。</p> <p>本講では、対人関係とコミュニケーションについての心理学的基礎を学ぶと共に、会話と態度、相談援助とカウンセリングマインド等の体験的学習を通して、相手の心理とニーズ、置かれている状況を理解するための基本的知識、技能、心構えを習得し、将来の医療の担い手の一員として、患者や彼らを取り巻く人々との信頼関係を確立し得る薬学専門家の育成を目指します。</p>				
成績評価法	講義中の小レポート、演習課題への取り組み、学期末試験の成績により総合的に評価します。				
テキスト	第1回授業の際に指示します。				
参考書	必要な際にその都度指示します。				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
I コミュニケーションの基礎知識 1. コミュニケーションとは(1) 2. コミュニケーションとは(2) II 基礎理論としての心理学 1. 人間関係の心理学(1) 2. 人間関係の心理学(2) 3. 人間関係の心理学(3) 4. 人間関係の心理学(4) 5. コミュニケーション効果(1) 6. コミュニケーション効果(2) 7. コミュニケーション効果(3) III 対人援助とコミュニケーション 1. 相談援助とカウンセリング・マインド 2. コミュニケーション・テクニク(1) 3. コミュニケーション・テクニク(2) 4. コミュニケーション・テクニク(3) IV 今後の課題と展望・地域医療の担い手として V 学期末テスト					